学校番号	３００２

令和８年度　農業科（資源動物科）

教科	農業	科目	農業経営	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	農業 719　「農業経営」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本科目は、日本の農業の在り方や農業簿記、生産物のブランディングなど農業経営に必要な基本的な知識や技術を身につけてもらいます。また、学校農場や自身の所属する農業クラブで行っている活動事例から、農業経営の必要性や農業クラブの活動・作業の整合性を感じてもらいます。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
農業経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける
【思考力、判断力、表現力等】
農業経営の会計・簿記、マーケティングが経営の発展へ繋がることを理解し、的確かつ正確で創造的に表現する力を養う
【学びに向かう力、人間性等】
自身の所属する専攻の活動は農業経営に関連していることを感じつつ、これまでの活動を経営面として評価し、今後の職業人としてマーケティングや簿記などのスキルを意欲的に学ぼうとする姿勢を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・農業経営に関する基本的かつ体系的な知識を身につけている。 ・農業経営に必要な農業会計や農業簿記、情報処理、基本的・体系的な技術を身に付けている。 ・農業マーケティングに必要な技術を理解している。	・農業経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に課題を解決する力を養う。 ・農業経営に必要な農業会計や農業簿記、情報処理を活用できるようになる。 ・農業マーケティングに必要な技術を選択し適切に表現できる。	・農業経営のマネジメントやマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　農業の動向と農業経営	1節 日本と世界の農業 2節 農業経営の動向 3節 食料消費の動向と社会経済環境 4節 食料・農業・農村政策と関係法規	a:世界農業における日本農業の位置づけと日本農業の経営の実態に関する基礎的な知識、および専門用語を的確に理解し、グローバルな考え方も理解することができている。 a:日本農業の政策や関係法規を理解している。 b:日本と世界の農業や地域農業の動向と実態について、それらの課題を解決する思考力を高めている。 c:日本と世界の農業の動向について、興味・関心をもち探究している。	授業観察 ノート 授業内課題 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 定期考査	事前課題 ノート 授業内課題 発表

2学期	第2章 農業のマネジメント	1節 農業マネジメント 2節 生産のマネジメント 3節 組織のマネジメント 4節 会計によるマネジメント 5節 リスクのマネジメント	a:農業経営の主体と目標、その管理と運営、組織構成と共同経営に関する基礎的な知識を身につけている。 a:農業簿記会計の基礎的な知識を身につけ、農業経営に活用できることを理解している。 b:農業経営のための情報を収集し、それをどのように経営改善のために活用するかについて思考し、情報活用のしかたを適切に判断し、よく現している。 b:農業簿記会計の知識と技術をふまえ、決算や財務諸表を作成して当期純利益を算出し、農業経営の実践を想定して活用することができる。 c: 農業経営情報の収集と活用について、興味・関心をもって意欲的に探究しようとしている。	授業観察 ノート 授業内課題 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 定期考査	事前課題 ノート 授業内課題 発表
3学期	第3章 農業のマーケティング	1節 農業マーケティングの概要 2節 農業のマーケティング戦略 3節 農産物のブランド化	a:農業マーケティングに関する基礎的な知識を身につけて、経営に活用できることを理解している。 b:農業マーケティングの基礎的な技術を身につけ、実践を想定した活用ができる。 c:農業マーケティングに興味・関心をもって意欲的に探究しようとしている。	授業観察 ノート 授業内課題 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 定期考査	事前課題 ノート 授業内課題 発表

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度